

# フォト・ルポ

## ◀としのかずほど捨ったかな



町内各保育所で2月3日、節分の日、例年のように豆まきが行われた。園児たちはまちにまったこの日だけに、自分たちで作った自作の鬼面をかぶり、先生のまく豆や、お菓자에大喜びでした。

建国記念日を迎えて、油谷町郷土文化会会長村田菊雄氏を講師として新別名地区老友会主催による講演会が、2月11日、人丸文化センターで開かれた。「日本の現状と将来を考える」と題して、老人としてこれから何をしなければならぬか等について話され、約50人の参加者は熱心に聞いていた。

## ▼これからの日本の将来を考える



## ▲ハイノまつすぐ手をあげて

2月9日、油谷小学校において、来年度新入学児の一日入学が行われ、一年生との交歓会や長門警察署や油谷警部派出所のおまわりさんによる交通安全教室が開かれ、横断歩道の渡り方や交通ルールを習い、子どもたちは楽しいながらも、ちょっぴり緊張した一日でした。

# 油谷町の昔話

## 六九の峠

波多野 徹



むかしむかし、話をおもしろ、おかしゅうする爺さーがおったげな。ある時、久富の八幡様の尊替えのかやー(茅)刈りに長敷へ行って、みんなで刈りよったら屋になつたそでのー、おおけな(大きな)むすびをだアーて(出して)たべよつたていやー。へーたら(そしたら)のー、そのおじいさアーがのー、話しだしたていやアー。

おまーらー、このたお(峠)ー、昔から平治ヶ峠ちゅうけどのーおりやー、六九の峠のほうかええと思うちよるそいやー。へーたら、みんなが、そねーな馬鹿なことがあるもんか。昔から平治ヶ峠ちゅうちよるそに、ばかアー言うな、ちゅうて、てんであえてにせんかつたげな。へーたら、そのちいさアーはのー、ええか、六九のさきアアー七〇(俄山の七重)ちゃろーがよ、へーちゃから、六九の峠

